

☆お読みになる患者さんへ☆

本同意書は、お読みいただき、署名後診察室にて提出するか、もしくは、診察室で説明を受けた後に署名をお願いいたします。なお、署名いただいた場合でも診察室では説明をいたします。

(そうえいざい)

ヨード造影剤使用に関する説明及び同意書

説明年月日： 年 月 日

説明医師

山口	龍生	久志	亮	松本	恒
松井	博滋	高橋	寿太郎	高野	由美
宮澤	英充	荒井	晃	佐藤	弘和

【造影剤についての説明】

今回実施するX線検査（CTを含む）は“ヨード造影剤”という薬を注射する場合があります。造影剤はX線検査で病気の有無や病気の性質、範囲といったことをより正確に評価するために用いられるものです。造影剤を使うかどうかは専門の放射線科医師が判断致します。造影剤を使うとまれに副作用が起こることがあります。副作用などや対策は次のとおりです。

1. 軽い副作用：吐き気、どうき、頭痛、かゆみ、くしゃみ、発疹などです。検査の1～2日後に発疹が現れることもあります。これらは治療を要さないか、1～2回の投薬や注射で回復するものです。このような確率は、約100人につき5人以下、つまり5%以下です。
2. 重い副作用：^{呼吸困難}、^{意識障害}、血圧低下、腎不全などです。このような副作用は、入院の上治療が必要で、場合によっては後遺症が残る可能性があります。このような確率は、約6,000人～9,000人につき1人、つまり0.01%～0.02%です。
病状、体質によっては約10万人～20万人につき1人の場合(0.0005%～0.001%)で、死亡事故の報告があります。当院では、事故に対する十分な準備をおこなっており、現在までに発生しておりません。
3. 造影剤を注射する時：
①体が熱くなりますが、直接の刺激であり心配ありません。
②勢いよく造影剤を注入するために、時々血管外に造影剤がもれることがあります。この場合には、注射した部位がはれて、痛みを伴うこともあります。基本的には時間がたてば、吸収されて心配ありません。もれた量が非常に多い場合には、別の処置が必要となることもあります。非常にまれです。
4. 対策：当院では、安全に造影CT検査を行うため、心電図検査をおこない、心臓疾患の確認をすることがあります。また、検査中、診療放射線技師、看護師が患者様の様子を観察しており、万一の副作用に対してもすばやく対応ができるようにした上で、安全性を重視して検査を行っています。
もし変だと感じたら、ためらわずすぐにおっしゃってください。その他わからないことや、気になることがあれば検査担当者にお申し出下さい。

【同 意 書】

医師の診察・説明を受け、造影剤の効果や副作用などについて理解した上で造影剤使用を同意しますか。

記入日： 年 月 日

同意します

患者氏名 (ご署名)

同意しません

代理人 (ご署名)

(続柄)